

さとうらこう

里浦港（丸亀市管理地方港湾）

里浦港は、丸亀港から海上約8kmの距離にある牛島の北岸に位置しています。

牛島は、周囲わずか4キロですが歴史と伝統の宝庫の島です。瀬戸内海随一の船持ちとうたわれた丸尾五左衛門や長喜屋等、多くの船持衆の栄華の跡や「無限の鐘」「珊瑚の杖」等数々の伝説が残されています。

現在の里浦港は、丸亀と本島を結ぶ旅客船の寄港地としてまた、島内の生活物資の取り扱い港、地元漁船の基地港として重要な役割を果たしています。平成3年に定期船用接岸施設が完成し、現在の姿となっています。

